

退教互会報

一般財団法人 岩手県退職教職員互助会

〒020-0022 盛岡市大通一丁目1-16岩手教育会館4階 ☎019(623)3300(代) ホームページ: <http://iwatetai.starfree.jp/>
発行・編集責任者 川 村 元



〈壮大な姫路城を背景に〉

目次

マイナ保険証について……………	2
保険証のコピー提出依頼……………	3
地区連絡会／全教互被災地視察研修会……………	4
地区会長事務局長会議／各地区会長事務局長一覧…	5
公益文化事業／囲碁大会予選……………	6
おくやみ欄……………	7
満100歳を迎えられた方々／会報100号発行 現職会員加入のすすめ／あとがき ……	8

表紙の写真

●退教互企画旅行●

早春の四国

「小豆島・金刀比羅・高知と姫路城」
(2024.3.12～15)

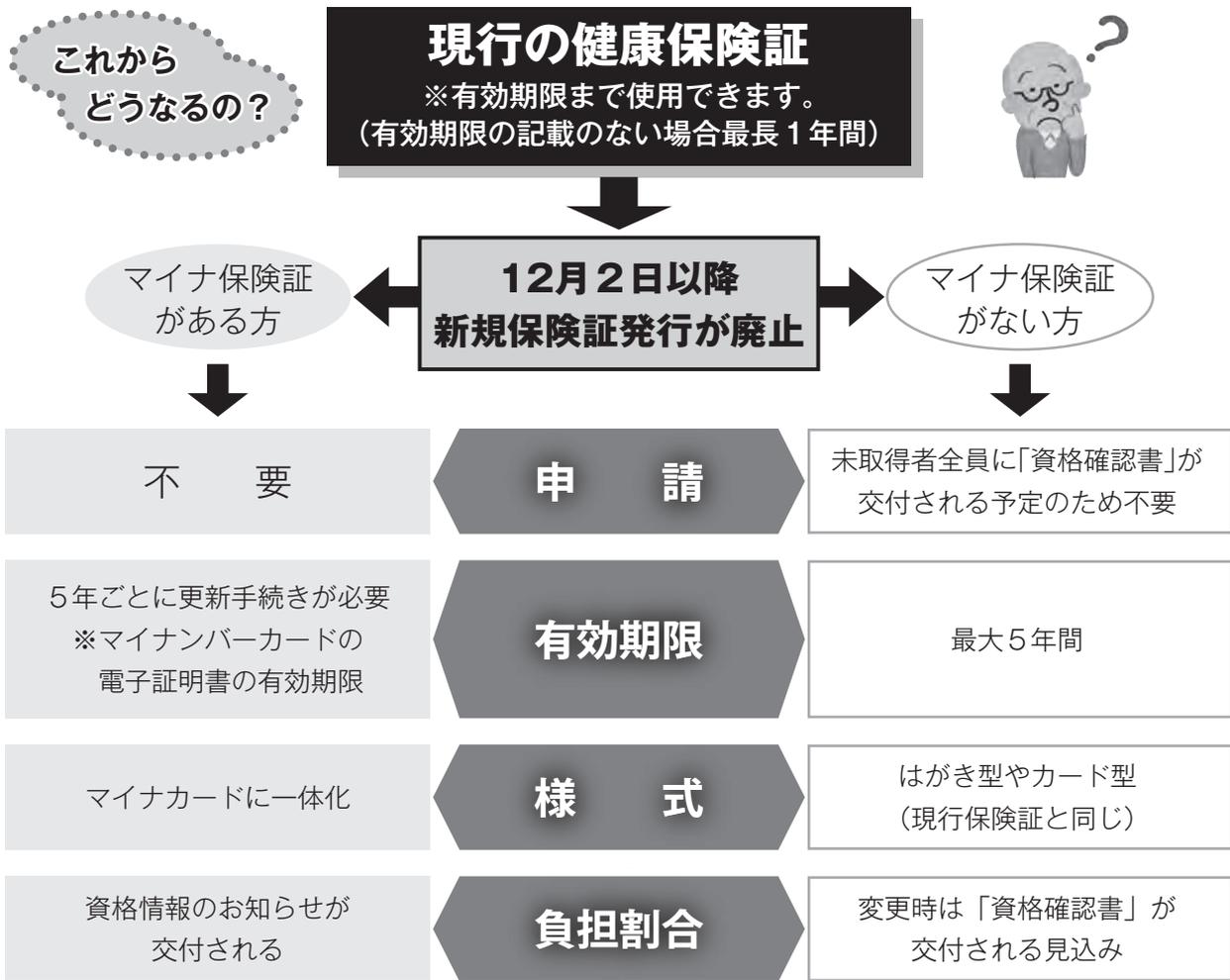
早春の穏やかな天候の中、姫路城をはじめ、四国（香川・高知）の名所と美食を楽しまれたようです。小豆島では壺井栄の「二十四の瞳」に思いをはせながら島独特の文化に触れ、金比羅山では階段で爽やかな汗を流し、栗林公園の庭園美・秘境かずら橋など見どころの多い旅行だったとのこと。

本場の讃岐うどん、高知の郷土料理「皿鉢料理」も堪能され、皆さん元気に帰県されたとのこと。

健康保険証とマイナンバーカード (マイナ保険証) 一体化について

現行の健康保険証について、2024年12月2日に新規保険証の発行が廃止されますが、すでに発行済みの現行の健康保険証は有効期限又は最長1年間まで使用できます。

なお、マイナンバーカードを健康保険証 (マイナ保険証) として利用登録をしていない方は申請がなくても、従来の健康保険証に代わる「資格確認書」が交付されるとしています。



退教互はマイナ保険証又は資格確認書でも今まで通り医療機関へ受診することができますのでご安心を。

※本件の詳細については保険証の発行元 (市町村等) へお問い合わせください。
※2024年8月末現在の情報になります。

70歳以上の皆様

8月から保険証の負担割合が変わっていませんか？



- ★ 一部負担金の割合が変わった方は、新しい高齢受給者証、後期高齢者医療被保険者証のコピーをご送付ください！

岩手県国保（市町村国保）及び後期高齢者医療にご加入の方々は、毎年8月に保険証の更新が行われます。新しい高齢受給者証、後期高齢者医療被保険者証に記載されている「一部負担金の割合」が、更新前と変わっていないか、今一度ご確認をお願いします。

「一部負担金の割合」が更新前と変わった方は、退教互へのお届け（コピーの提出）が必要です。まだ退教互へコピーを送っていない方は、早急にご送付をお願いします。（FAX 送信可 019-623-3349）

※健康保険証と高齢受給者証が一体化された市町村もございます。

- ★ 一部負担金の割合が変わった方は
診療報酬請求書への記入の仕方が変わります。

※加入健康保険等の区分の○で囲む欄は次のようになります。

※一部負担金の割合は「保険証」に記載されております。

高齢受給者証（70歳～74歳）

の一部負担金の割合が

2割の方は→**352**に○

3割の方は→**353**に○

後期高齢者医療被保険者証（75歳以上）

の一部負担金の割合が

1割の方は→**401**に○

2割の方は→**402**に○

3割の方は→**403**に○

後期高齢者医療にご加入の方（75歳以上の皆様）

2022年の10月1日から一部負担金の割合に「2割」が新設されております。

それにより、診療報酬請求書の一部負担金の割合の記入相違が多くなっております。

診療報酬請求書の加入健康保険等の区分を○で囲む際には、後期高齢者医療被保険者証の一部負担金の割合を再度ご確認の上、ご記入をお願いいたします。

後期高齢者医療被保険者証の一部負担金の割合が
2割の方は診療報酬請求書の402に○

2024年度地区連絡会

本年度の地区連絡会は、6月6日から7月9日まで、総勢1,187名の会員の皆様にご出席いただき、開催いたしました。

昨年度は、地区連絡会後にお弁当を手渡す地区が多かったのですが、本年度においては、懇親会等を開催し、新会員を交えた会員同士の親睦を深める地区が多く見受けられました。

今回の地区連絡会でも、退教互の現況や受診要領などを説明させていただきましたが、会員の方々からはマイナ保険証や退教互の資産状況に関わる質問や意見が出されました。皆様からいただきましたご意見は、今後の運営にいかしていきたいと思っております。ご欠席の方々にも地区連絡会資料が届いていると思っております。是非、お目通しをお願いします。



西磐井地区連絡会



気仙地区懇親会

全教互被災地視察研修会 大船渡市で開催

全国教職員互助団体協議会（略称・全教互）では、東日本大震災直後の2011年秋の「役員等研修会」を盛岡市で開催して以降、被災地を支援することを目的として、継続的に被災地視察が実施されてきました。

今回、2015年に全教互総会が開催された大船渡市に於いて、全国の教職員互助団体から31名の参加により「被災地視察研修会」が開催されました。（7/18～7/19）

初日の講演では、退教互会員の加藤 清さん（西磐井地区）による現職時代の震災体験が語られ、2日



目は、高田松原津波復興祈念公園、東日本大震災津波伝承館を見学、その後、震災学習列車（三陸鉄道・盛駅～釜石駅）にて移動しながら、被災地の「今」を視察されました。

地区会長・事務局長会議開催

去る、5月7日岩手教育会館に於いて、「地区会長・事務局長会議」を開催いたしました。

会議では、本部より2023年度の事業報告と決算について、2024年度の運営方針と予算についてそれぞれ報告の後、地区連絡会の開催事項についての確認や、地区交付金等、地区に関わる事項について協議いたしました。

会議で出されました主な意見は以下の通りとなっております。

- 現職会員の拡大をさらに進めてほしい。
- 退会者を出さない努力が必要。
- 給付額の少ない会員への現状見直しを検討委員会等で議論してほしい。
- 持続可能な互助会としての強固な財政基盤を確立してほしい。

頂いたご意見を基に、今後も退教互の維持・発展のために努めて参ります。



2024年度各地区会長・事務局長一覧

地区名	会長名	事務局長名	地区名	会長名	事務局長名
盛岡	佐藤 均	高野 泉	気仙	三浦 昌弘	田村 敏彦
岩手	目黒 泰	山本 顯	釜石	河東 眞澄	菅井 綾人
紫波	山本 好章	千葉 功一	遠野	昆 弘盛	湊 惠幸
稗貫	藤田 俊男	菊池 善明	宮古	大久保 茂	坂下 正典
和賀	佐藤 徹英	千葉 正	下北	中村 邦子	菊地 ミツ子
胆沢	高橋 俊一	及川 茂行	九戸	大井 正信	佐々木 裕毅
江刺	及川 功一	及川 智	二戸	上森 一男	久慈 喜一
西磐井	佐藤 軍治	千葉 茂樹	東京	豊巻 浩也	小田島 洋子
東磐井	佐藤 良	小野寺 廣	仙台	大山 清吉	小川 総一郎

※今年度の評議員・理事・監事の一覧については、地区連絡会資料（退職会員向け）、退教互の現況（現職会員向け）に掲載しております。

2024 公益文化事業



第53回岩手教育芸術祭

■コーラスネットワークいわてコンサート
 11月2日(土) 開演13:30
 会場 岩手教育会館 多目的ホール
 入場料 500円(高校生以下無料)
 出演 岩手県内コーラスグループ
 コーラスネットワークいわて加盟団体

■美術展
 11月9日(土)～12日(火)
 開場 9:00～17:00
 (最終日15:00終了)
 会場 岩手教育会館 1階・2階特設会場
 (盛岡市大通1-1-16)

◆いしがきミュージックフェスティバル
 9月23日(月祝) 開演 10:30～19:00
 会場 盛岡城跡公園
 盛岡駅フェザンステージ
 クロステラスステージ
 ほか全7会場

美術展作品募集要項

■絵画 (日本画・洋画・版画・水墨画)
 50号以内 額装(1人1点)

■デザイン 全紙以内 パネル(1人1点)

■彫刻・立体 150cm×100cm×100cm以内
 重さ50kg以内(1人1点)

■工芸 150cm×130cm×50cm以内
 重さ50kg以内(1人1点)

■現代美術 120cm×120cm×50cm以内
 重さ20kg以内(1人1点)

■書道一部 本紙242cm×61cm以内(縦作品)
 本紙180cm×70cm以内(縦・横自由)

二部 本紙136cm×35cm以内(縦・横自由)
 一部、二部とも額装または軸装。ただし、
 軸装の場合 縦の長さ240cm以内とする。
 二部は判切以下の半紙や色紙等の小品も
 可とする。(一部、二部通して、1人1点)

■写真 四つ切以上全紙
 (額装またはパネル68cm×57.5cmまで)
 デジタル作品は加工不可。(1人2点以内)
 ☆いずれも未発表の作品に限る。規格外の作品は審
 査対象外とする。

☆出品料 無料 ☆応募〆切 10月25日(金)
 ☆詳細は、下記事務局へ作品募集要項を請求のこと。

岩手教育芸術祭事務局 ☎ 019-623-3301へ

2024 全国教職員囲碁大会岩手県予選

第42回全国教職員囲碁大会(来年1月6日、東京・市ヶ谷の日本棋院会館にて開催、全教互主催)への出場権をかけた岩手県予選を、本年10月30日(水)に岩手教育会館で開催いたします。

この予選会の勝者は、県代表として派遣されます。

参加資格は、地区大会で選抜された方又は地区から推薦を受けた方となります。

地区大会については、各地区事務局へお問い合わせください。

競技種目=名人戦(5段～6段)・段位戦(初段～4段)・級位戦

※名人戦(無差別)の参加者が例年非常に少ないことから、本年から5段以上の方々を名人戦とし競技を行うことといたしました。



2023年度対局風景

■おくりやみ申し上げます<敬称略>

会報99号掲載以降の方々です。退教互から香奠を給付し、ご冥福をお祈り致しました。

【盛岡地区】			
菅野ヨシ	2023年	8月13日	93歳
藤井ユミ		10月11日	95歳
阿部康		11月29日	87歳
岡田信		12月19日	93歳
岡切ア	2024年	1月2日	94歳
市本博		2月1日	90歳
坂本ヤ		2月2日	87歳
林茂		2月2日	87歳
村元		2月4日	96歳
小三		2月5日	89歳
西敬		2月5日	89歳
鈴木寛		2月8日	95歳
小野昭		2月10日	94歳
片岸三		2月10日	94歳
福真名	(盛岡市立青山小学校)		
		2月12日	59歳
		2月19日	94歳
林茂		2月21日	94歳
千孝		2月24日	96歳
古川し		2月27日	89歳
藤原久		3月7日	77歳
吉見廣		3月11日	94歳
武中勉		3月14日	91歳
谷地智		3月14日	93歳
川清		3月15日	93歳
猿佐尚		3月19日	93歳
藤居史		3月22日	95歳
中野治		3月26日	81歳
野攻		3月30日	91歳
田屋美		4月12日	83歳
藤澤和		4月15日	87歳
阿部忠		4月16日	70歳
佐藤功		4月18日	88歳
地靖		4月19日	74歳
菅野清		4月23日	87歳
多田公		5月12日	89歳
島山久		5月18日	90歳
畑川明		5月27日	84歳
下上碩		5月30日	87歳
村川實		6月3日	67歳
厨英		6月5日	96歳
熊文		6月5日	93歳
三子		6月8日	85歳
畑那		6月12日	76歳
川幸		6月22日	90歳
阿部司		6月29日	96歳
佐木宏		6月29日	87歳
小洋		7月4日	91歳
澤敏		7月9日	90歳
熊谷博		7月10日	75歳
本正		7月15日	84歳
佐木壮		7月17日	94歳
藤春		7月26日	88歳
齋黒			
後屋ふ			
【岩手地区】			
向井岸	2023年	6月10日	65歳
小野力		9月7日	67歳
村上敏	2024年	1月8日	96歳
緑川春		2月2日	92歳
佐々木		2月28日	94歳
山正		2月29日	69歳
菅田正		3月13日	86歳
菅田篤		3月25日	94歳
千英		7月6日	73歳
廣秋			
【紫波地区】			
大堀英	2024年	2月1日	87歳
福来一		2月5日	91歳
大井哲		3月10日	93歳
佐々木		3月11日	85歳
成ヶ澤		3月14日	93歳
儀保		3月16日	95歳
菊地美		3月26日	43歳
		3月29日	93歳
上田勝		3月31日	83歳
中里也		5月9日	88歳
小英			

【紫波地区】			
高橋義	2024年	6月15日	84歳
箱崎敦		6月21日	91歳
松村順		7月5日	93歳
【稗貫地区】			
伊藤修	2024年	2月7日	79歳
本館昭		2月15日	90歳
太田達		2月15日	75歳
福岡久		3月26日	82歳
晴山良		3月30日	93歳
稲葉ミ		4月16日	90歳
梅木孝		4月16日	89歳
多田民		5月6日	89歳
城守雄		5月14日	92歳
佐藤孝		5月29日	81歳
菊池ヨ		5月31日	95歳
川村好		6月1日	90歳
小田島		6月8日	93歳
小島清		6月20日	85歳
島山政		6月20日	88歳
梅原章		6月26日	80歳
佐藤忠		6月27日	80歳
柳原秀		6月30日	69歳
大泉盛		7月23日	98歳
【和賀地区】			
及川節	2023年	7月13日	91歳
齊藤駿		9月21日	91歳
犬塚光	2024年	1月2日	92歳
和田貢		2月2日	94歳
阿部フ		2月20日	90歳
音石康		2月26日	91歳
八重一		2月26日	88歳
三上隆		3月12日	94歳
佐々木		3月16日	90歳
浅水達		5月12日	94歳
伊藤栄		5月17日	93歳
加茂ス		6月12日	90歳
高田長		6月22日	73歳
【胆沢地区】			
伊藤サ	2023年	11月18日	89歳
小林榮	2024年	2月15日	88歳
佐々木		2月23日	93歳
千葉輝		2月24日	98歳
高橋宏		3月5日	97歳
佐々木		3月13日	96歳
菅千		3月15日	78歳
阿部枝		3月17日	97歳
柳沢俊		3月17日	94歳
藤澤善		3月17日	89歳
皆川美		4月8日	89歳
小野盛		4月13日	90歳
松倉沙	(岩手県立前沢明峰支援学校)		
		4月13日	44歳
安部綾		6月1日	96歳
佐藤伎		6月3日	90歳
菅原ア		6月21日	104歳
小野イ		7月5日	99歳
森萩淑		7月12日	87歳
和賀江		7月28日	95歳
伊藤ア		8月5日	92歳
鎌倉貞		8月11日	88歳
佐藤正		8月13日	87歳
佐藤ノ			
【江刺地区】			
中嶋慎	2024年	1月27日	92歳
菊池善		3月5日	80歳
今野昭		4月3日	96歳
高橋和		5月4日	97歳
佐藤夫		5月21日	92歳
及川力		5月27日	80歳
【西磐井地区】			
高橋ス	2022年	10月16日	98歳
佐々木	2023年	12月15日	84歳
増子恭	2024年	2月7日	87歳

【西磐井地区】			
佐藤幸	2024年	3月12日	92歳
藤治		4月19日	93歳
米谷恵		5月2日	91歳
吉田香		5月7日	88歳
奥澤		6月19日	83歳
千葉靖		6月21日	76歳
島葉		7月4日	84歳
瀧谷重		7月5日	94歳
【東磐井地区】			
村上實	2024年	1月28日	91歳
佐々木		2月4日	98歳
小山ヨ		2月17日	90歳
菊池義		5月15日	76歳
及川恭		5月19日	92歳
【気仙地区】			
新沼幾	2023年	12月10日	83歳
松田喜		12月31日	81歳
及川昭	2024年	1月23日	94歳
金野哲		3月15日	81歳
新沼弘		3月24日	62歳
滝田美		4月30日	93歳
小林致		5月24日	95歳
小松綾		7月7日	95歳
須藤京		7月23日	95歳
【釜石地区】			
清水二	2024年	2月5日	71歳
和田優		2月20日	78歳
平田裕		3月3日	86歳
瀬川雅		4月24日	89歳
濱田ヒ		7月2日	86歳
伊藤雄		7月3日	87歳
佐藤工		7月9日	93歳
【遠野地区】			
菊池靖	2024年	5月1日	94歳
笹木敏		7月9日	94歳
【宮古地区】			
小川和	2022年	7月10日	90歳
中田隆	2024年	3月31日	94歳
中村丘		4月1日	68歳
橋本八		4月24日	93歳
野崎重		5月30日	83歳
鈴木工		6月13日	93歳
【下北地区】			
佐藤和	2023年	4月13日	88歳
【九戸地区】			
出石佑	2024年	6月17日	97歳
野中徳		6月25日	94歳
【二戸地区】			
國分弘	2024年	2月27日	90歳
上田敏		3月14日	85歳
兼田麗		4月4日	77歳
奥昭		4月9日	93歳
田口伸		5月4日	98歳
菅原健		5月27日	82歳
【東京地区】			
指田静	2023年	11月16日	101歳
卓田キ	2024年	1月26日	93歳
佐々木		1月27日	79歳
藤田和		5月22日	96歳
小林意		6月12日	88歳
【仙台地区】			
小山慶	2024年	2月29日	96歳
千葉隆		5月2日	98歳
吉田境		5月8日	95歳
熊谷悦		6月24日	91歳
【愛知県名古屋市】			
菅野武	2024年	4月25日	89歳
【愛知県江南市】			
小野寺	2021年	6月7日	94歳
【福岡県福岡市】			
菊池光	2024年	1月18日	93歳

寿

満100歳!!

おめでとう

ございます。

第99号掲載以降、次の方々も100歳のお誕生を迎えられましたので、ご紹介いたします。



大山 彬さん
(盛岡地区)

大正13年2月23日生
昭和58年3月
姥屋敷中学校退職

100歳が向うから勝手にやって来て、物忘れ等がひどくなり、大いに迷惑している感じです。

毎日「数独」等のクイズに手をつけたり、肩の凝らない小説を読んだりしています。

私にとって、教職員時代、組合教研等で各支部を尋ねたのが何よりの思い出です。と直接ご本人から近況をお知らせいただきました。



梅原 孝さん
(胆沢地区)

大正13年6月12日生
昭和60年3月
水沢農業高校退職

3年前に带状疱疹を発症され、歩くことが困難になり入院。その後リハビリを重ね現在は町内のグループホームに入所されています。現職中から90歳まで自分の足として自転車で行動され、常に「自分のことは自分で」が座右の銘とのこと。90歳を過ぎてからも古文書の解読や図書館から本を借りてきては読書に親しみ、現在は施設の皆さんと和やかに体操やゲームをして楽しんでおられるご様子。ご家族の方からお知らせいただきました。

おかげ様で創刊から100号!

退教互会報は、今号100号を迎えました。

退教互創設から12年後の1973年（S48年）7月に「財団法人」の設立認可の取得を機に、同年、記念すべき「退教互会報」第1号が創刊されました。

これまで、会報作成にあたり医療制度・給付に関わる最新の情報や活動報告、お悔み掲載、100歳を迎えられた方々の紹介など、会員の皆様に寄り添い「共感」と「親近感」を心がけてまいりました。

今後も、永く皆様に親しまれる「退教互会報」をめざし発行に努めてまいります。



◀創設50周年記念号



▲第50号



◀創刊第1号

加入のすすめ

現職会員



年金・医療・介護を含めた社会保障の負担増、給付減が進められている中で、退教互の重要性が増しています。

会員拡大のため、新たに給付事例等を掲載したチラシを作成しました。今後さらなる退教互の優位性を広め、会員加入の拡大を進めていきます。

あとがき

今年の夏も暑い日が続きました。また、数年前の大きな被害を思い出すような台風が太平洋側から上陸ということでしたが、災害までにならず良かったです。

不安定な気候が続きますので、体調管理には気を付けてお過ごしください。⑬